

毎週日曜発行
2023 11/5

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

43

きょうのテーマ

大阿闍梨という言葉を知っているかな。厳しい修行をしたお坊さんの特別な呼び名なんだ。仙台市太白区秋保にある慈眼寺住職塩沼亮潤さん(55)は1999年に、奈良県吉野で1日48キロの山道を1000日間歩く修行「大峯千日回峰行」を、9年かけて達成した大阿闍梨だよ。

◇

子どものころは仙台の市街地も田んぼや用水路が多く、春と夏は昆虫採集、魚釣り、秋はこ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

テレビで見た修行に憧れ

小学5年の時にたまたま、テレビで比叡山延暦寺の千日回峰行を見ました。「このお坊さん

かっこいい」。家はお寺ではなく、仏教にも興味はありませんでしたが、なぜか修行に憧れ、極めたいという思いを抱きました。これが縁というもののなのでしょうね。中学2年で両親が離婚

高校に入るとにわかにならなくなった。修行への思いは変わらず、卒業

後にも母と祖母からは、日々の生活や学校の出来事を踏まえて「人のご恩は一生忘れてはいけない」「人にもものをあげて見返りを求めるのは間違いない」など、たくさんのお話を教わりました。2人の言葉は今も宝物。振り返ると出家前、子どものころから修行が始まっていたようなものでした。

ロケットのように、人生も軌道に乗るまでは頑張らないといけないけど、だんだん優しく、笑顔で生きられる人になってほしい。



しおぬま・りょうじゅん 仙台市出身。連坊小路小、五橋中、東北高卒。1987年に金峯山寺で出家得度。2000年に食べず、飲まず、寝(ね)ず、横にならずを9日間続ける四無行(しむぎょう)を達成。03年に慈眼寺を開山(かいざん)した。

塩沼 亮潤さん(55歳・住職、大阿闍梨)

し、母、祖母と暮らし始めました。経済的に苦しく、近所の人のご飯を食べさせてくれるなど、助けてくれました。将来、恩返しができるようにしたいと思ったことを覚えていきます。



小中学校を通して勉強が嫌いで、かなり悪い成績でした。でも「勉強をしない」としかられたことはありません。小学1年の時、母に「勉強は自分が見たい」と思ったからするもの」と言われました。勉強して良い大学、良い会社に進むのも、勉強ができて将来ご飯が食べられないのも、私次第ということですよ。

何事も道を極めるのは簡単ではありません。試練も、挫折もあります。誰かに言われたことは逃げ道を作れますが、自分で決めたことは文句が言えないし、言い訳もできません。母はしつづけに厳しい一方、私の人生に線路を敷かず、上手に育ててくれたと思います。



後の出家得度は自分にとって自然な流れでした。進路はより修行が厳しい金峯山寺(奈良県)を選びました。

今週の注目ニュース

◇8日(水) ココアの日
寒くなるとココアの需要が高まることから、森永製菓が冬の始まりとされる二十四節気の「立冬」を、ココアの日に制定しました。温かいココアにマシュマロやアイスを浮かべてもおいしいですね。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー